

2013年4月12日

川口市長候補 岡村 幸四郎 様

ふるさと鳩ヶ谷の会
会長 山中 照行

川口市長選挙にあたっての公開質問状

私たち「ふるさと鳩ヶ谷の会」は、すみよい鳩ヶ谷・すみよい川口をめざし活動する市民の会です。

会では、合併後の市民意識を把握するため、昨年、市民アンケートにとりくみました。寄せられた1,322名の回答の中で多く寄せられた声は、鳩ヶ谷市役所が支所になってしまったため、福祉などの諸手続きは市役所まで行かなければならなくなり、不便になったこと。川口市役所へのバスの便が悪いこと。国保税など市民負担が大きくなったこと。保育内容の後退や保育料が高くなったこと。公民館が使いにくくなったことなどです。

このたび、新庁舎建設にあたり、その建設地の選定が審議されていることを知りました。私たちも、本庁舎が耐震上問題があるため、解決しなくてはならないことと考えています。しかし、建設地だけの審議会については疑問に感じています。

本庁舎の建て替えに当たっては、本庁舎機能の再検討が欠かせないと考えています。

今後50年、100年先を見据えるとともに一極集中の弱さを露呈した東日本大地震の教訓を生かす視点から、本庁舎と支所のあり方やその他の公共施設の機能との関係で、本庁舎機能も見直す必要があります。

私たちは、市内すべての地域が、それぞれの地域住民にとって住みやすく、安心して暮らせる地域の特徴を生かしたまちづくりが大切だと考えています。

「まちはみんなでつくるもの地域の特徴を生かした自立あるまちづくり」は、市民が主人公の川口市自治基本条例の本旨にも合致するものと考えます。

川口市長選挙では、市庁舎建設のあり方を含めたまちづくりと支所機能の充実が重要な課題だと考えております。

つきましては、別紙のとおり「市庁舎建設のあり方を含めた、まちづくりと支所機能の充実について」どのような、お考えをお持ちなのか伺いたいと思い、公開質問(状)をさせていただきます。

大変お忙しいところとは存じますが、市民の投票行為に向けた判断材料とさせていただきますので、ぜひとも、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

ます。

なお、ご回答いただいた内容については、当会のニュースとホームページでそのまま掲載し公開させていただきます。また、回答の結果によって、当会として特定の候補者を推薦することはありません。

ご回答にあたってのお願い

回答は4月23日までをお願いします。

回答方法は、郵送、又はファックスをお願いします。

回答は、質問項目ごとに概ね200字以内をお願いします。

回答先、及び問合せ先

郵便番号334-0003 川口市坂下町2丁目5番6号

ふるさと鳩ヶ谷の会 会長 山中 照行

電話・ファクス 048-285-0776

「市庁舎建設のあり方を含めた、まちづくりと支所機能の充実について」の公開質問状 （質問とご回答）

お名前

1. 支所機能の充実について

市民は、身近に支所があっても受け付ける業務が限られているため、市役所まで申請・手続・相談のために出掛けている状況です。市役所から遠い地域では、バスを乗り継いだりして一日がかりで出掛けなければなりません。とりわけ、幼児をかかえる母親、高齢者、身体が不自由な者にとっては大変です。

市民は、各地区の支所窓口の機能を充実して、福祉・医療・教育などのすべての申請・手続・相談が出来るようにしてほしいと願っています。お考えをお聞かせください。

回答欄

2．新庁舎建設に併せ、支所を拠点としたまちづくりについて

いま川口市では新庁舎建設に向けて準備が進められていますが、東日本大震災の教訓のひとつに一極集中方式の脆弱性が指摘されています。

川口市は人口58万人、全国で3番目（政令市除く）に大きい都市です。従来の一極集中の市役所を中心にした行政対応では、市民の暮らしを守ることに限界があります。支所の窓口業務の充実とあわせて、身近な支所が地域ごとの防災対策や地域コミュニティづくりの拠点として、地域振興を推進できるようにしてほしいと願っています。お考えをお聞かせください。

回答欄

3．地方自治法をもとに、公選制の地域協議会の制定について

川口市自治基本条例に定められているように、このまちの主人公は市民です。その市民の声や意思が川口市政に反映される仕組みを設けるために、各地区（支所ごと）に地方自治法にもとづく公選制の地域協議会を制定してほしいと願っています。お考えをお聞かせください。

回答欄